

見直しを要望 都市計画

飯島 悠介ゆうすけ 議員

問 現在の都市計画に対し、私は若者代表として反対だ。取手の街にぎわいがなくなつたのは、顔づくりを怠つたからだ。現在の都市計画（ウエルネス・タウン構想）が目先遅れることになつたとしても、10年先、20年先のこの取手の街に禍根を残さないために、市民の皆さんが本当に求める街づくりについて一から議論を行い直すべきだ。

にぎわいを取り戻すために、特に駅前に必要なのは、楽しめるというテーマ。本物の芸術に触れ心豊かに人と人がつながりを、若いも若きもお互いに支え合うような社会が必要。住んでいくことに誇りが持てる、そ



取手駅西口から見た治助坂

んな取手をつくるための都市計画を要望する。

市長 中心市街地の部分では、まず平日の日中に人の流れをつくることを基礎として、その上に若い人たちにとつても魅力のあるスペースやコンセプトを乗せていけば、ウエルネスという考え方と、例えばアートとか、団塊ジュニア層の定着といったことは十分両立できると思う。

文化を支えていく箱については、公共施設マネジメント白書を参考にしながら、芸術の拠点なども考えていく予定である。

増設を！ 取手駅東口防犯カメラ

金澤 克仁かつひと 議員

昨年12月17日、取手駅西口で関東鉄道のバスに男が乗り込み、乗客を刃物で切

りつけるという傷害事件が起きた。防犯カメラの設置は犯罪の抑止力に非常に有効だと考える。

現在、2基が取手駅東口さくら坂付近に設置されているが、東口ロータリーや改札がしっかりと見えるような場所に新たに設置する考えはあるか。

市長 プライバシーの関係からどうこうと意見を言われる方はいるが、自らの安全を守るため一定の理解を得て、効果的な場所にはしっかりと設置をしていくべきものと考えている。

総務部長 現在、東口さくら坂付近に設置してある2基では、東口改札にいる人の顔までは判別できない。今後の設置計画については、取手警察署と協議を重ねて、必要かどうか、取手市として検討を進めていきたい。

熟成を！ ウエルネス・タウン

結城 繁 議員

問 ウエルネス・タウン構想について、パブリックコメントの意見の利用方法は、都市整備部長 7月4日の

土地利用構想策定委員会で取り上げてもらう予定。中心市街地整備課長 意見を慎重に加味して、最終的な政策判断に導入する。
問 パブリックコメントに

よる大きな変更はないのか。

答 基本的な方向性については、市民から賛同をいただいたと思う。ただ、こういう方向ではだめだという意見が多数寄せられた場合は考えなければならぬ。

問 人口動態の中でコーホート分析※をした理由は、
答 コーホート分析は、ある期間内に、その世代の人がどれだけ増えたのか減ったのかを見られる。

問 各市町村と分析を対比して、まちづくりを考えてもらいたい。どうか。
答 そのとおりだと思う。

問 コーホートを入れることにより、構想がどのように改善されると考えるか。
答 健康・福祉・医療というコンセプト。少子化対応ということ子育て支援の機能や生涯学習活動の場なども配置する。

※コーホート分析：同時期に出生した集団の時間経過による変化を見る分析。年代分析とも呼ばれる。

確保を！ 災害時飲料水

吉田 宏 議員

3月11日の地震発生後、県南水道の水道管漏水により、井野台、台宿、白山地区などで水を供給できなくなった。今後、長期間断水となった場合、家庭にどの

ように飲料水を供給するのか。ペットボトルや耐震性貯水槽の備蓄分だけでは市内全域に行き渡るかわからない。公共施設に井戸を設けたり、消防本部に消防用・給水用を兼ねたタンク車を備えるのも方法だと考えるが。

市長 地域防災計画の中に、災害時に井戸を所有する家庭から飲料水の提供を受ける「災害時協力井戸登録制度」があるが、まだ登録がない。今後、周知して進めていきたい。

総務部長 小学校や農園で井戸水を使える所があるが、飲料水に適しているか確認してからでないと運用は難しい。

消防長 消防兼用給水車は確かに有効と思うが、財政的な面で考えさせてほしい。

情報発信の 在り方

朝比奈 通子みちこ 議員

問 交流人口を増やすため、ターゲットを意識して、市のホームページで取手市の個性や魅力を伝える戦略的な考えはないか。

政策推進部長 市外の方からも興味を持たれるような内容を積極的に取り入れていきたい。
問 震災後、電車の通常運転が回復するまで牛久市や

龍ヶ崎市は駅の時刻表を市のホームページにアップしていた。なぜ取手はアップできなかったのか。

答 伝える情報の中身の検討については、災害対策本部で慎重に動いた点もあるし、混乱もしていた。

問 新聞折り込みで配布している広報紙の配布方法について、地域の情報収集と安否確認を兼ねて戸別配布にすることもコミュニケーションにとつてよいのでは。
答 戸別配布は非常に経費がかかる。経費と効果をよく考えて対処していく。

問 広報紙を市内のコンビニやスーパーに置いてもらう考えは。
答 既に検討はしたが、コンビニは市民に取ってもら率が極端に低いと実施している市町村から聞いている。スーパーは一部で試行的に行っている。

